

平成 2 9 年度

第 1 回 県政モニターアンケート調査結果報告書



長野県

## 目 次

I	調査の概要	-----	1
II	結果の内容	-----	5
	(1) 「自転車事故を補償する保険への加入」について		
	問 1 自転車保険に関する項目の条例化の是非		6
	問 2 自転車保険加入促進について県条例で規定する場合の考え方		6
	(2) 消費生活に関する意識について		
	問 3 消費者として行政に望むこと		7
	問 4 「エシカル消費」の認知度		8
	問 5 知らずに実施していた「エシカル消費」の実態		9
	(3) 道路整備等について		
	問 6 道路整備の方向性の認知度		11
	問 7 乗り物の保有状況		12
	問 8 外出時の目的		13
	問 9 道路整備状況の満足度		15
	問10 優先して整備すべき道路		16
	問11 道路対策の優先度		17
	問12 高齢歩行者への配慮に必要な道路整備		18
	問13 地域活性化に必要な道路整備		19
	問14 大地震や大雨などの災害発生時における道路網分断の不安感		20
III	調査票	-----	21

# I 調査の概要

1 調査の目的・項目

県政の課題について「県政モニターアンケート調査」を実施しました。今回の調査においては下記の3項目について14問を設定しました。

- (1) 「自転車事故を補償する保険への加入」について  
「長野県自転車条例（仮称）」の制定にあたり、自転車保険加入促進に関する意識を調査
- (2) 消費生活に関する意識について  
「第2次消費生活基本計画」の策定にあたり、消費生活に関する意識等を調査
- (3) 道路整備等について  
「信州みちビジョン」の策定にあたり、道路整備に関する意識等を調査

2 調査の方法

- (1) 調査地域：長野県全域
- (2) 調査対象：県政モニター 1, 230人  
(現在の県政モニターは平成28年7月から登録)
- (3) 調査方法：郵送又はインターネット
- (4) 調査機関：平成29年5月30日（火）から平成29年6月12日（月）

3 回収結果

回収数（率） 992 人（80.7%）

【回答方法別】 (上段 回答者数：中段 対象者数：下段 割合)

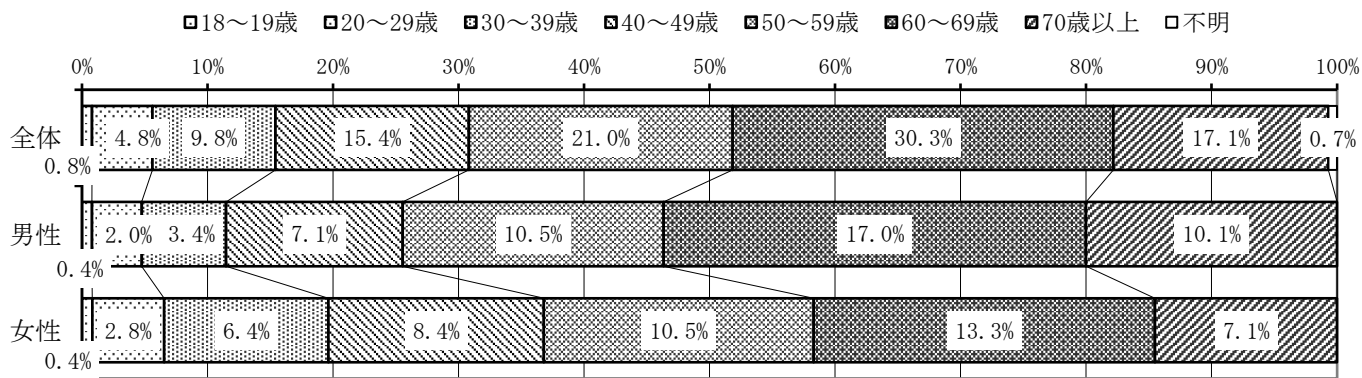
	全体回答率	(回答方法内訳)	
		郵送	インターネット
総数	992	810	182
	1,230	963	267
	80.7%	84.1%	68.2%
公募	82	18	64
	103	21	82
	79.6%	85.7%	78.0%
無作為	910	792	118
	1,127	942	185
	80.7%	84.1%	63.8%

4 回答状況

【男女別・年代別】 (上段 回答者数：下段 割合)

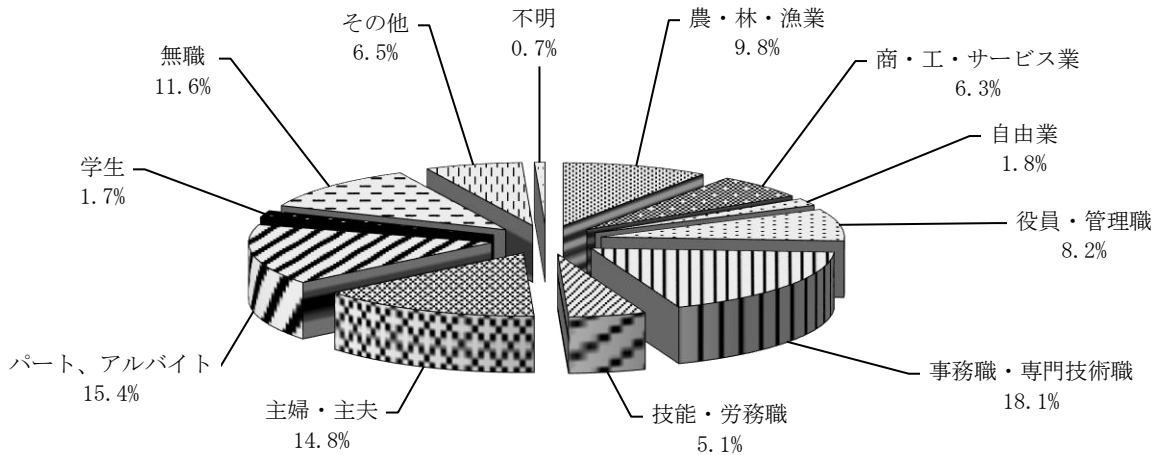
	総数	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	不明
総数	992	8	48	97	153	208	301	170	7
	100.0%	0.8%	4.8%	9.8%	15.4%	21.0%	30.3%	17.1%	0.7%
男性	501	4	20	34	70	104	169	100	0
	50.5%	0.4%	2.0%	3.4%	7.1%	10.5%	17.0%	10.1%	－
女性	484	4	28	63	83	104	132	70	0
	48.8%	0.4%	2.8%	6.4%	8.4%	10.5%	13.3%	7.1%	－
不明	7	－	－	－	－	－	－	－	7
	0.7%	－	－	－	－	－	－	－	0.7%

※ 割合(%)はすべて、回答総数(n=992)に対する割合



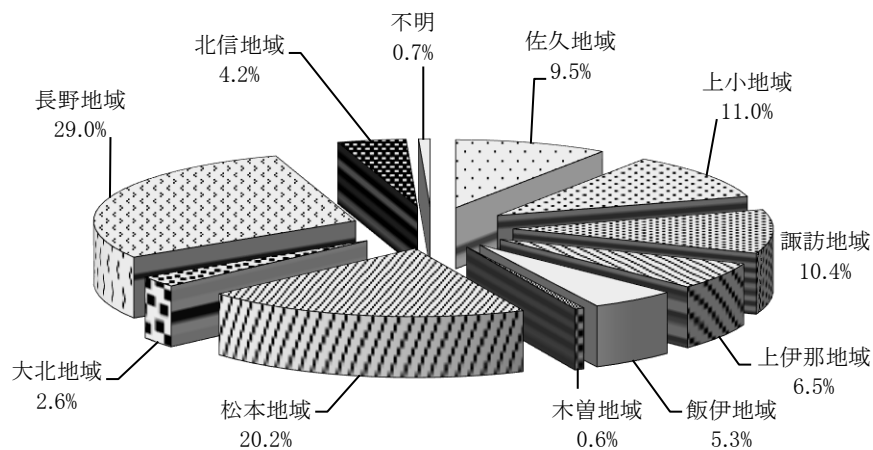
【職業別】

	県政モニター登録者数		回答者数		回答率
	人数	割合	人数	割合	
農・林・漁業	111	9.0%	97	9.8%	87.4%
商・工・サービス業	82	6.7%	62	6.3%	75.6%
自由業	23	1.9%	18	1.8%	78.3%
役員・管理職	107	8.7%	81	8.2%	75.7%
事務職・専門技術職	248	20.2%	180	18.1%	72.6%
技能・労務職	68	5.5%	51	5.1%	75.0%
主婦・主夫	162	13.2%	147	14.8%	90.7%
パート、アルバイト	185	15.0%	153	15.4%	82.7%
学生	24	2.0%	17	1.7%	70.8%
無職	137	11.1%	115	11.6%	83.9%
その他	83	6.7%	64	6.5%	77.1%
不明	－	－	7	0.7%	－
合計	1,230	100.0%	992	100.0%	80.7%



【地域別】

	県政モニター 登録者数		回答者数		回答率
	人数	割合	人数	割合	
佐久地域	126	10.2%	94	9.5%	74.6%
上小地域	138	11.2%	109	11.0%	79.0%
諏訪地域	128	10.4%	103	10.4%	80.5%
上伊那地域	75	6.1%	64	6.5%	85.3%
飯伊地域	68	5.5%	53	5.3%	77.9%
木曽地域	10	0.8%	6	0.6%	60.0%
松本地域	244	19.8%	200	20.2%	82.0%
大北地域	29	2.4%	26	2.6%	89.7%
長野地域	356	28.9%	288	29.0%	80.9%
北信地域	56	4.6%	42	4.2%	75.0%
不明	—	—	7	0.7%	—
合計	1,230	100.0%	992	100.0%	80.7%



## 5 その他

- (1) 調査結果の割合は、百分率で表記した。百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表示している。したがって、割合の合計が100%とならない場合がある。なお、調査の設問には単数回答と複数回答があり、複数回答の場合には割合の合計が100%を上回ることがある。
- (2) 集計結果において、「無回答」とは、当該設問に対する回答（選択）が無いものを示す。  
※回答方法が1択の設問に対して、複数選択されているなど、正常な回答として扱えないものも「無回答」とする。
- (3) 「Ⅱ結果の内容」中、設問の表記は、便宜上補足（選択肢の番号など）を加えている場合がある。また、設問の選択肢で文字数が多いものについては、本文や図表中で便宜上短く省略している場合がある。
- (4) 「4 回答状況」で「不明」とあるものは、アンケート回答の際に県政モニターID番号等の記入がなく、回答者の属性（性別、年代等）が不明なものを示している。

## Ⅱ 結 果 の 内 容

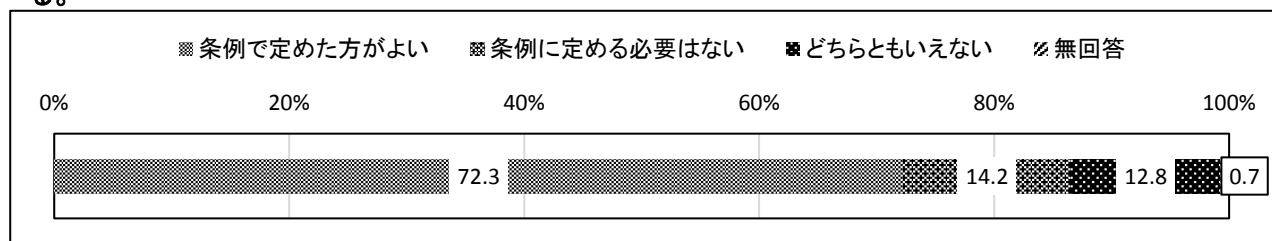
## 《「自転車事故を補償する保険への加入」について》

＜自転車保険に関する項目の条例化の是非＞  
「条例で定めた方がよい」と回答した人が約7割

問1 自転車事故の被害者・加害者ともに事故による生活への影響が非常に大きいため、万が一加害者になってしまう場合に備えて自転車保険への加入義務を条例で定めた方がよいという考え方がありますが、どのように思われますか。(〇は1つ)

	n= 992	回答数 (人)	割合 (%)
条例で定めた方がよい		717	72.3
条例に定める必要はない		141	14.2
どちらともいえない		127	12.8
無回答		7	0.7

●「条例で定めた方がよい」が72.3%と最も高く、次いで、「条例に定める必要はない」(14.2%)となっている。

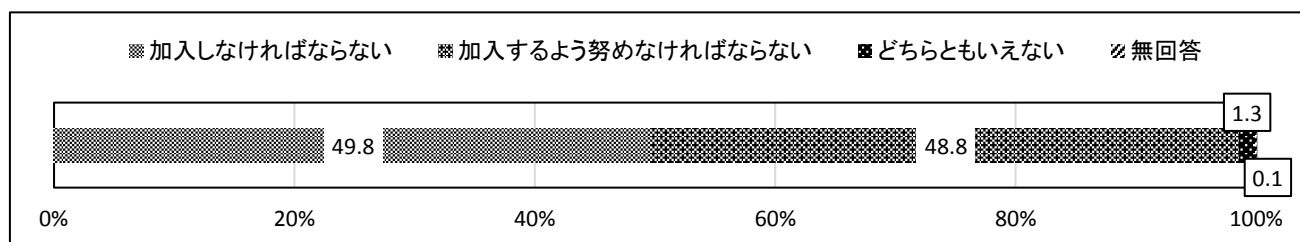


＜自転車保険加入促進について県条例で規定する場合の考え方＞  
「加入しなければならない」と「加入するよう努めなければならない」が約5割

問2 問1で、「①条例で定めた方がよい」と答えた方に伺います。条例で加入義務を定める場合、「加入しなければならない」とする方法と、「加入するよう努めなければならない」とする方法とが考えられますが、どちらがよいと思いますか。(〇は1つ)

	n= 717	回答数 (人)	割合 (%)
加入しなければならない		357	49.8
加入するよう努めなければならない		350	48.8
どちらともいえない		9	1.3
無回答		1	0.1

●「加入しなければならない」が49.8%、「加入するよう努めなければならない」が48.8%とほぼ同じ割合。





## 《消費生活に関する意識について》

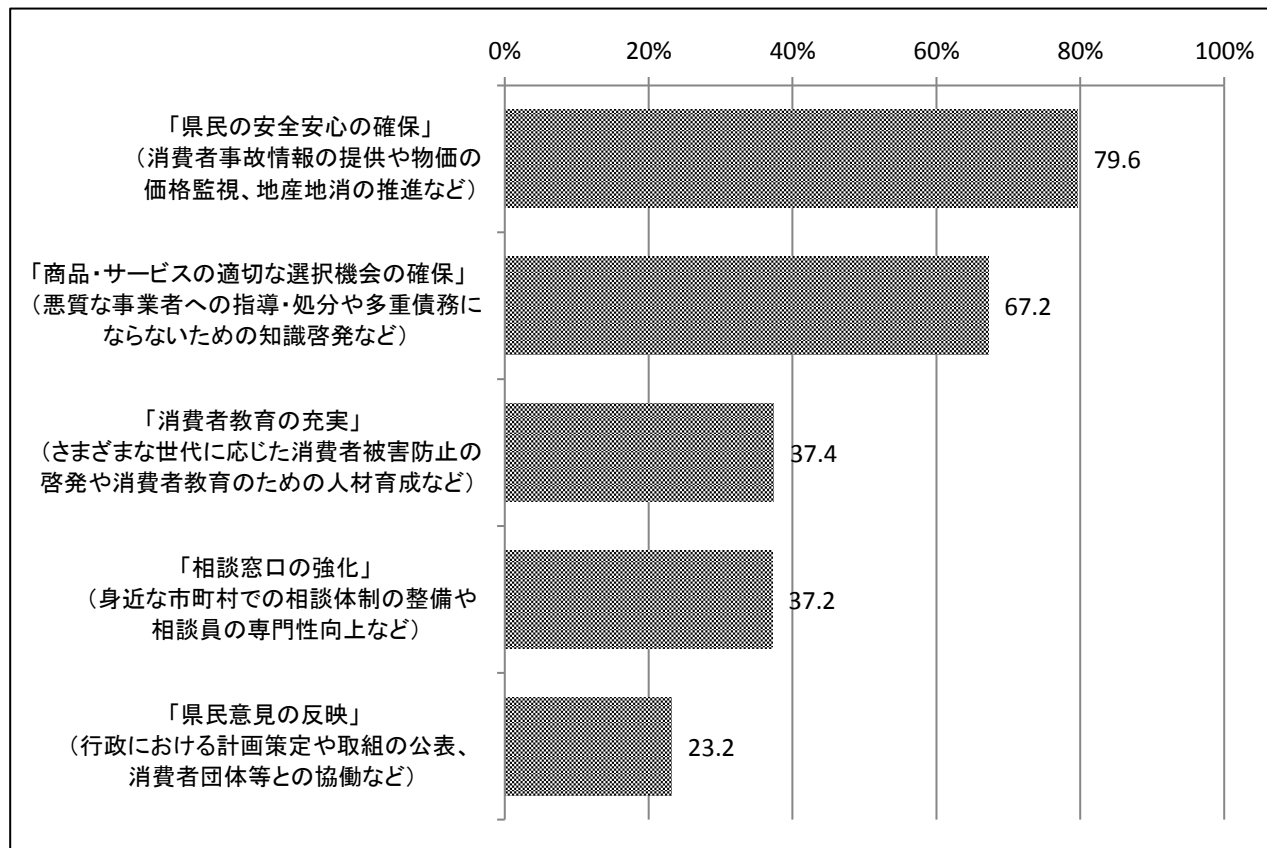
＜消費者として行政に望むこと＞

「県民の安全安心の確保」が約8割、「商品・サービスの適切な選択機会の確保」が7割弱

問3 現在の「長野県消費生活基本計画」に基づき、県では次の施策に取り組んでいます。  
今後、より力を入れてほしいものは何ですか。（○は3つまで）

	回答数 (人)	割合 (%)
n= 992		
「県民の安全安心の確保」 (消費者事故情報の提供や物価の価格監視、地産地消の推進など)	790	79.6
「商品・サービスの適切な選択機会の確保」 (悪質な事業者への指導・処分や多重債務にならないための知識啓発など)	667	67.2
「消費者教育の充実」 (さまざまな世代に応じた消費者被害防止の啓発や消費者教育のための人材育成など)	371	37.4
「相談窓口の強化」 (身近な市町村での相談体制の整備や相談員の専門性向上など)	369	37.2
「県民意見の反映」 (行政における計画策定や取組の公表、消費者団体等との協働など)	230	23.2

●「県民の安全安心の確保」が79.6%と最も高く、次いで「商品・サービスの適切な選択機会の確保」(67.2%)となっている。



自由記載欄では、「施策の広報を工夫してほしい」、「中学生、高校生への消費者教育に力をいれてほしい」等の回答が見られた。

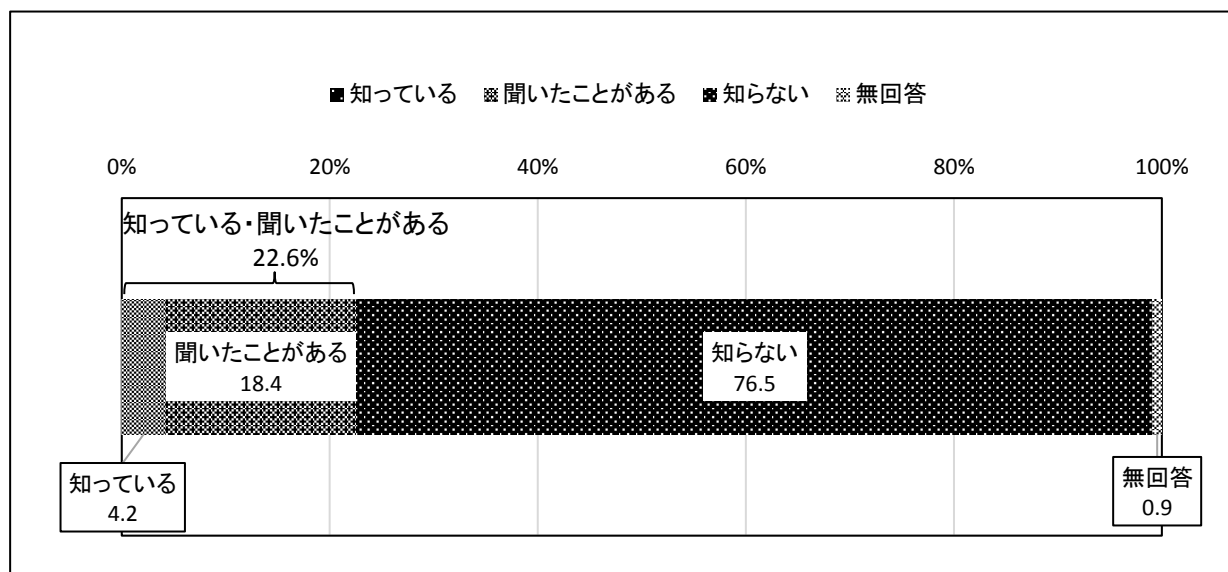
＜「エシカル消費(※)」の認知度＞  
「知っている」「聞いたことがある」が合わせて2割超、「知らない」が8割弱

問4 より良い社会づくりのために有効な手段である、人や社会・環境に配慮した消費行動「エシカル消費」という取組をご存じですか。(○は1つ)

※「エシカル消費」とは、倫理的消費ともいい、価格や品質だけでなく、「地域」「社会」「人」「環境」などに配慮した消費行動のことです。  
(地元産野菜の購入、災害被災地商品の購入、省エネ家電製品の購入など)

	回答数 (人)	割合 (%)
n= 992		
知っている	42	4.2
聞いたことがある	182	18.4
知らない	759	76.5
無回答	9	0.9

●「知っている」と「聞いたことがある」を合わせると、22.6%となっている。「知らない」が76.5%と最も高い。



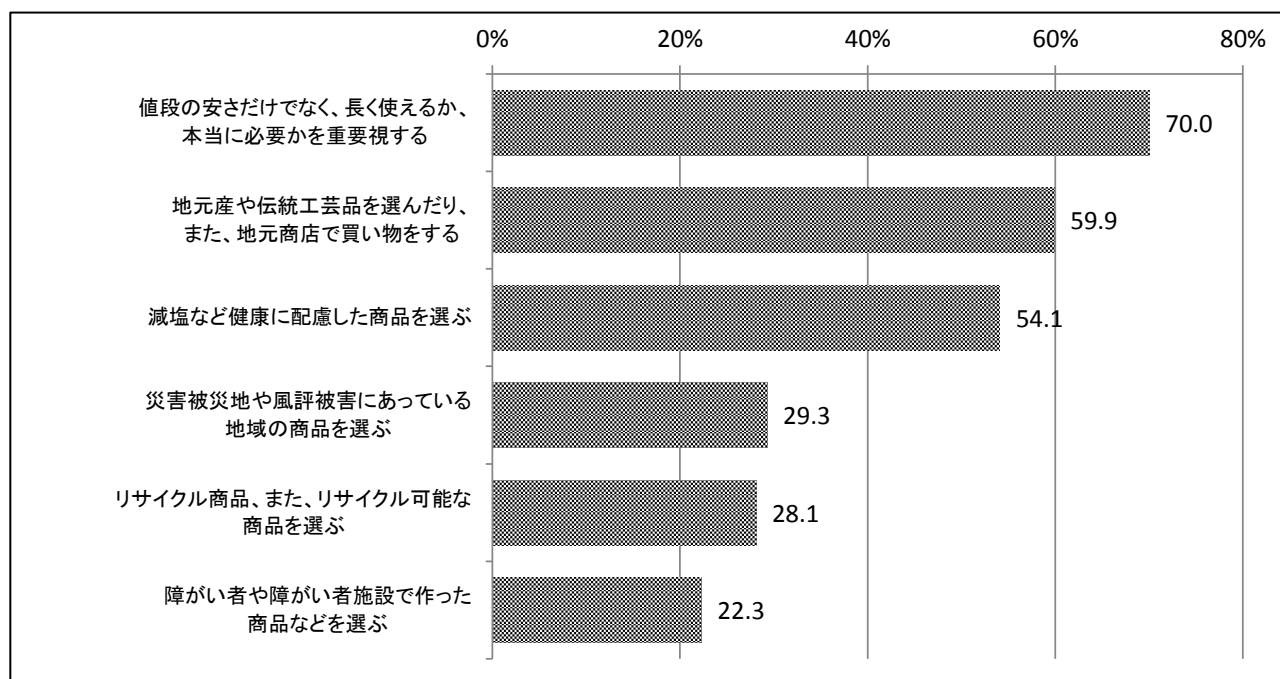
＜知らずに実施していた「エシカル消費」の実態＞

「値段の安さだけでなく、長く使えるか、本当に必要かを重要視する」が7割、「地元産や伝統工芸品を選んだり、また地元商店で買い物をする」が約6割、「減塩など健康に配慮した商品を選ぶ」が5割超

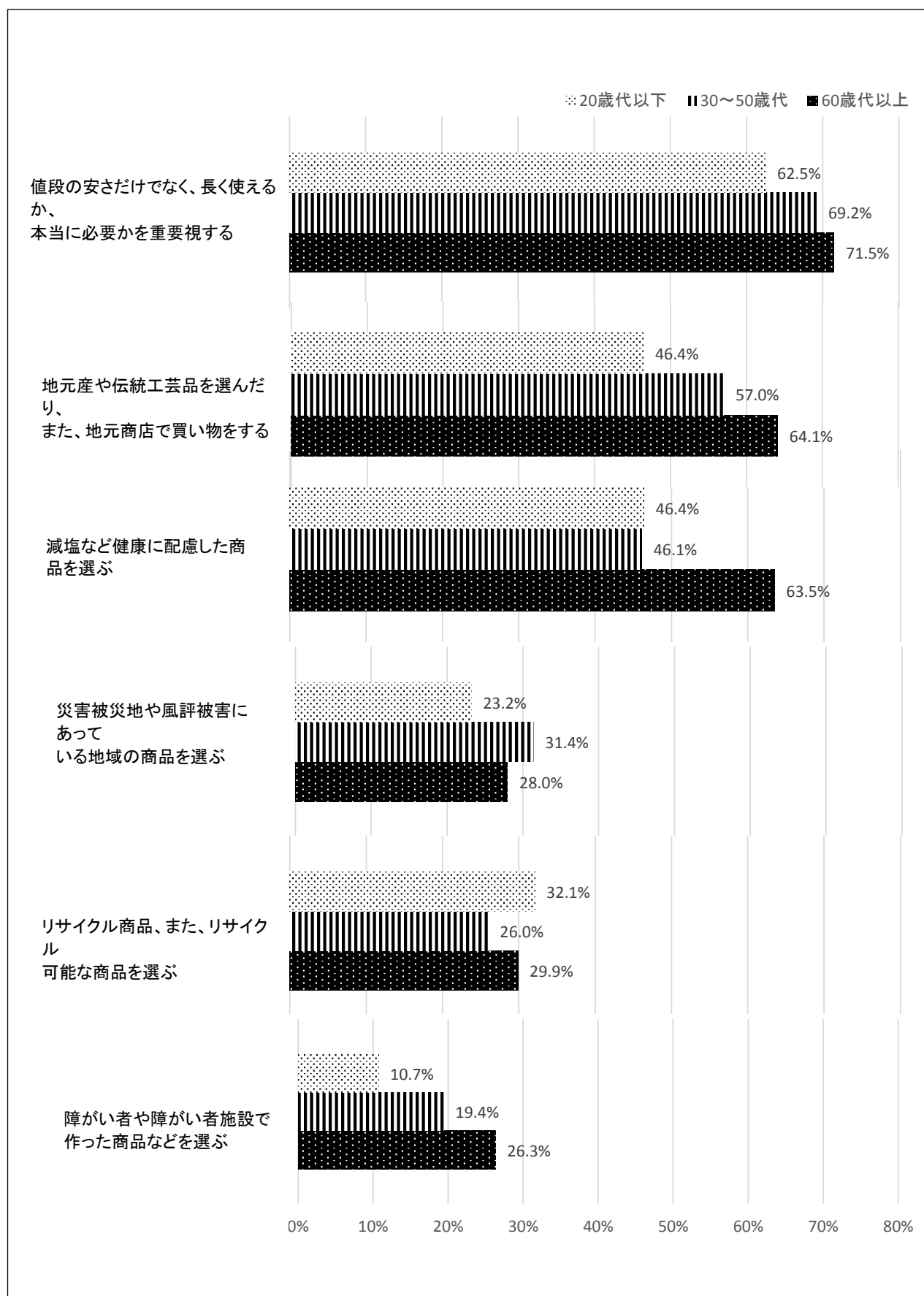
問5「エシカル消費」について、次のような取組がありますが、実施していることはありますか。  
(〇はいくつでも)

n= 992	回答数 (人)	割合 (%)
値段の安さだけでなく、長く使えるか、本当に必要かを重要視する	694	70.0
地元産や伝統工芸品を選んだり、また、地元商店で買い物をする	594	59.9
減塩など健康に配慮した商品を選ぶ	537	54.1
災害被災地や風評被害にあっている地域の商品を選ぶ	291	29.3
リサイクル商品、また、リサイクル可能な商品を選ぶ	279	28.1
障がい者や障がい者施設で作った商品などを選ぶ	221	22.3

●「値段の安さだけでなく、長く使えるか、本当に必要かを重要視する」が70.0%と最も高く、次いで「地元産や伝統工芸品を選んだり、また地元商店で買い物をする」(59.9%)、「減塩など健康に配慮した商品を選ぶ」(54.1%)となっている。



●どの年代も「値段の安さだけでなく、長く使えるか、本当に必要かを重要視する」が最も高く、次いで「地元産や伝統工芸品を選んだり、また地元商店で買い物をする」となっている。また、「障がい者や障がい者施設で作った商品などを選ぶ」が最も少ない。



## 《道路整備等について》

＜道路整備の方向性(※)の認知度＞  
「よく知っている」「知っている」が合わせて1割超

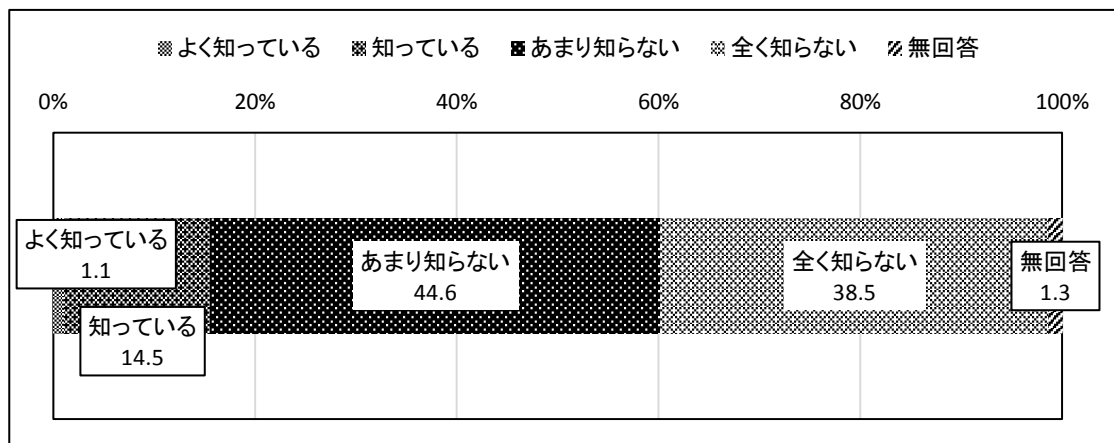
問6 現在、県の道路整備の方向性については、主に総合5か年計画(平成25年度～29年度)に記載しているところですが、その内容をご存じですか。(〇は1つ)

※総合5か年計画における道路関連の主な施策

基本目標	分野	施策
確かな暮らしが営まれる美しい信州	地域づくり	魅力ある地域の創造と発信
	安全	地域防災力の向上
		県民生活の安全確保
	社会基盤	高速交通・情報通信ネットワークの充実
		快適で暮らしやすいまちづくり

	回答数 (人)	割合 (%)
n= 992		
よく知っている	11	1.1%
知っている	144	14.5%
あまり知らない	442	44.6%
全く知らない	382	38.5%
無回答	13	1.3%

●「あまり知らない」が44.6%と最も高く、次いで「全く知らない」(38.5%)、「知っている」(14.5%)となっている。

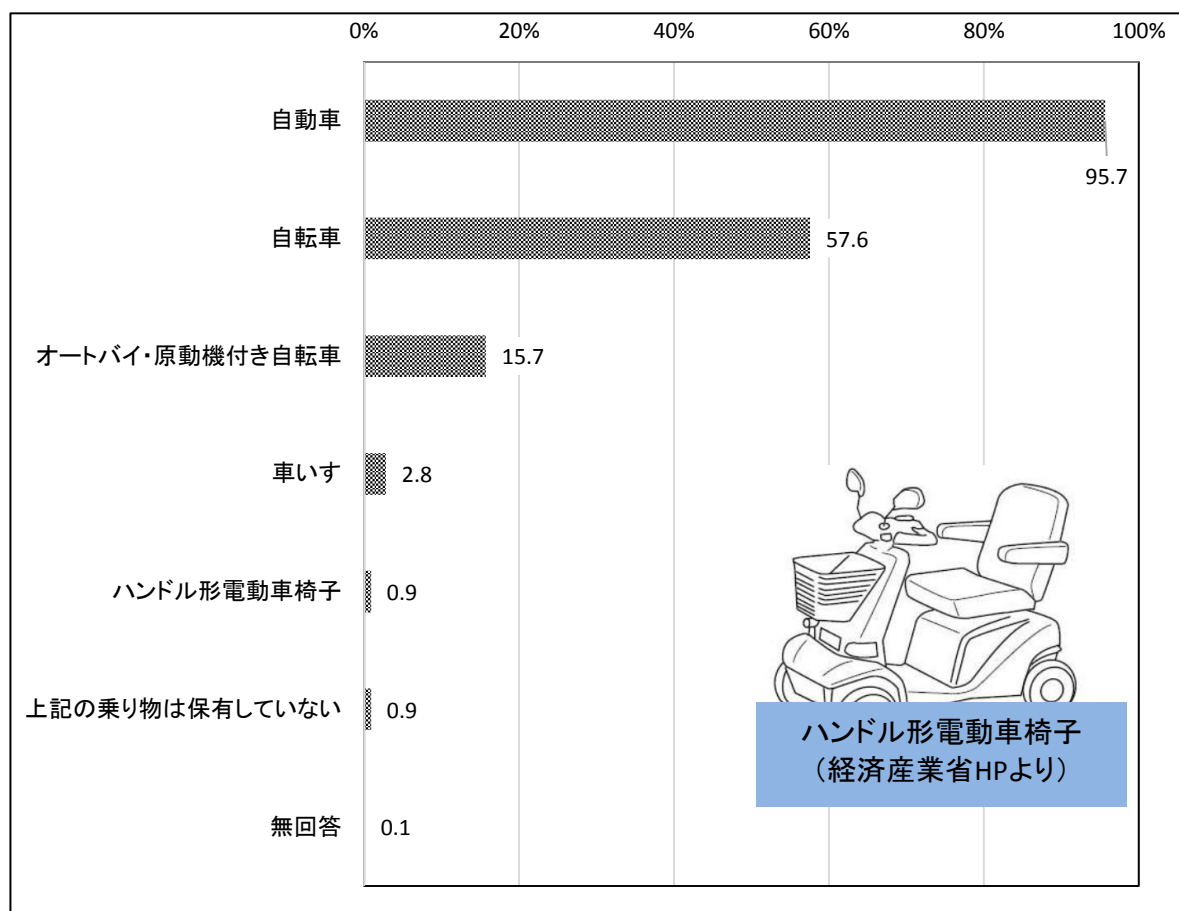


＜乗り物の保有状況＞  
「自動車」が9割超、「自転車」が約6割

問7 以下の乗り物を保有していますか。（該当するもの全てに○）

	回答数 (人)	割合 (%)
n= 992		
自動車	949	95.7
自転車	571	57.6
オートバイ・原動機付き自転車	156	15.7
車いす	28	2.8
ハンドル形電動車椅子	9	0.9
上記の乗り物は保有していない	9	0.9
無回答	1	0.1

●「自動車」が95.7%と最も高く、次いで「自転車」(57.6%)、「オートバイ・原動機付き自転車」(15.7%)となっている。

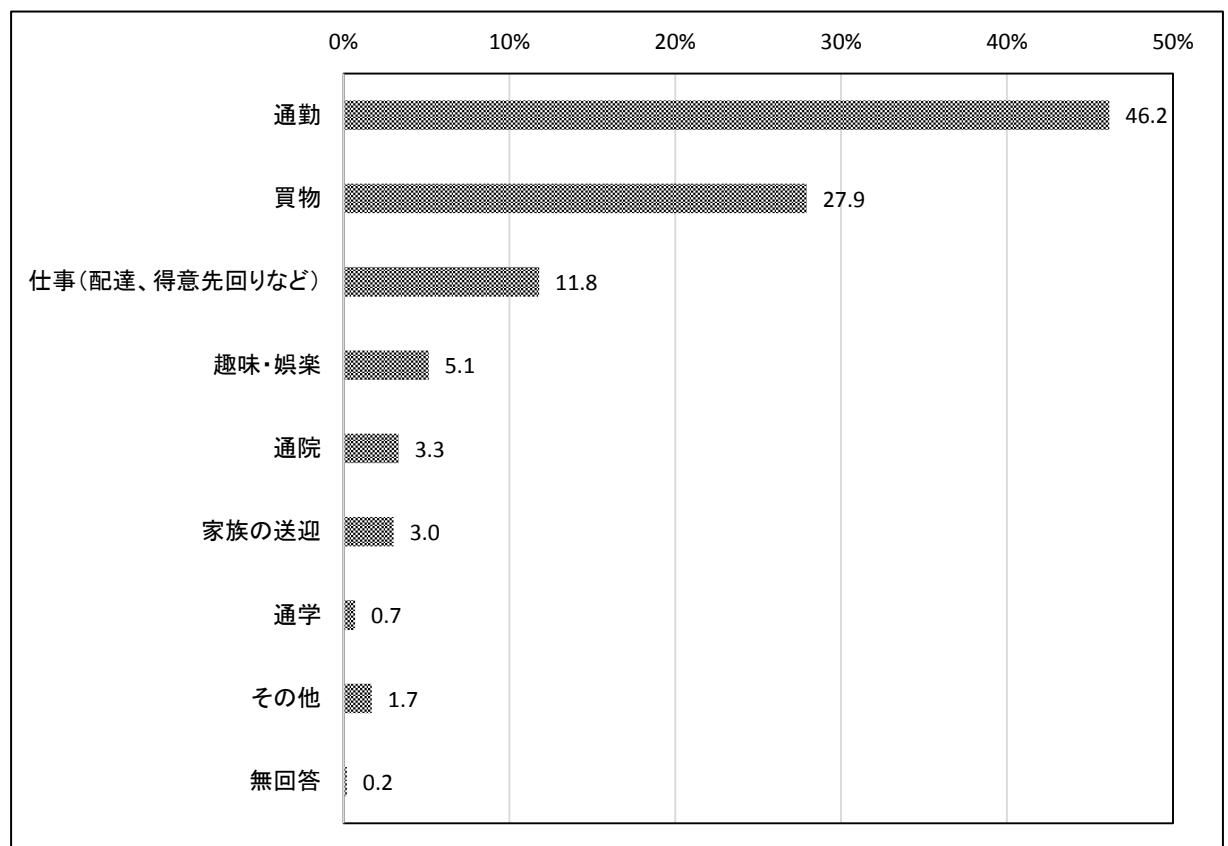


＜外出時の目的＞  
「通勤」が5割弱、「買物」が約3割

問8 普段、どのような目的での外出が最も多いですか。(〇は1つ)

	回答数 (人)	割合 (%)
n= 992		
通勤	458	46.2
買物	277	27.9
仕事(配達、得意先回りなど)	117	11.8
趣味・娯楽	51	5.1
通院	33	3.3
家族の送迎	30	3.0
通学	7	0.7
その他	17	1.7
無回答	2	0.2

●「通勤」が46.2%と最も高く、次いで「買い物」(27.9%)、「仕事」(11.8%)となっている。



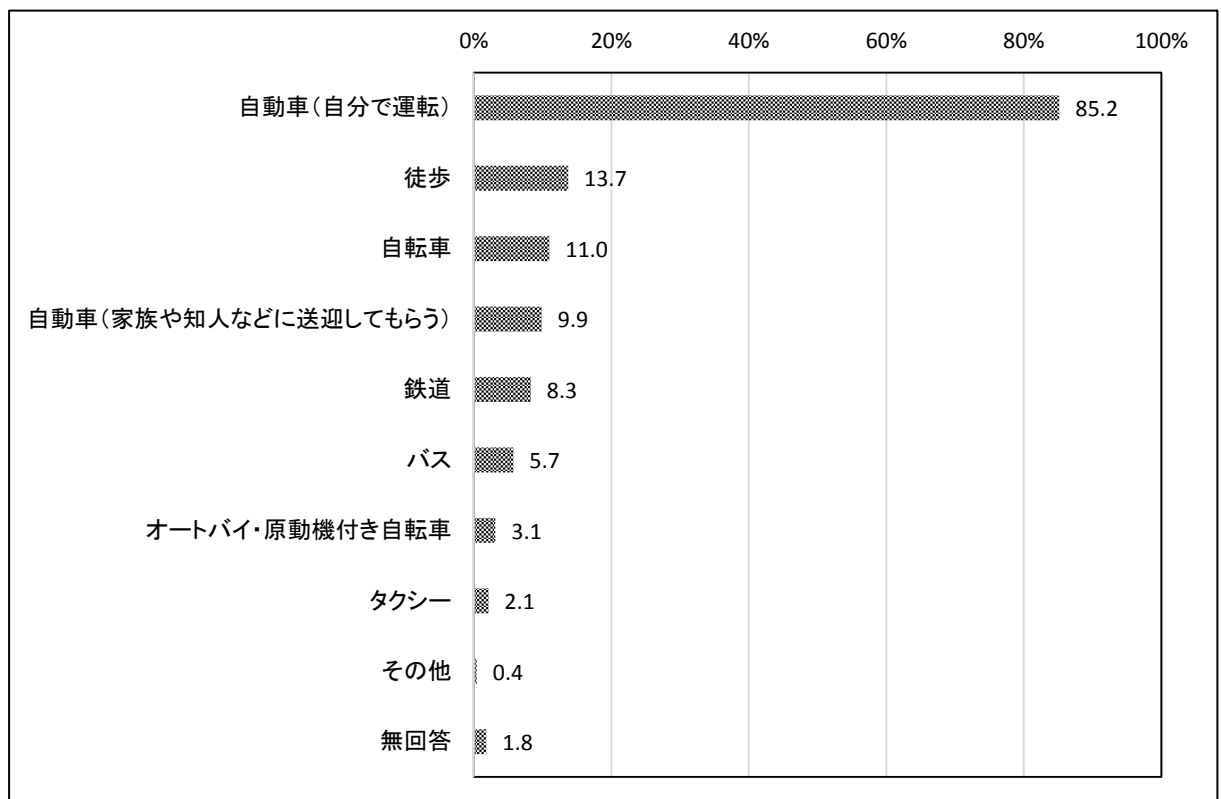
その他としては、「介護」、「農作業」等の回答が見られた。

＜外出時の交通手段＞  
「自動車」が8割超、「徒歩」が1割超

問8で○をした目的で外出する際の交通手段は何ですか。(利用するもの全てに○)

	回答数 (人)	割合 (%)
n= 992		
自動車(自分で運転)	845	85.2
徒歩	136	13.7
自転車	109	11.0
自動車(家族や知人などに送迎してもらう)	98	9.9
鉄道	82	8.3
バス	57	5.7
オートバイ・原動機付き自転車	31	3.1
タクシー	21	2.1
その他	4	0.4
無回答	18	1.8

●「自動車(自分で運転)」が85.2%と最も高く、次いで「徒歩」(13.7%)、「自転車」(11.0%)となっている。



その他としては、「車いす」、「乗合」等の回答が見られた。



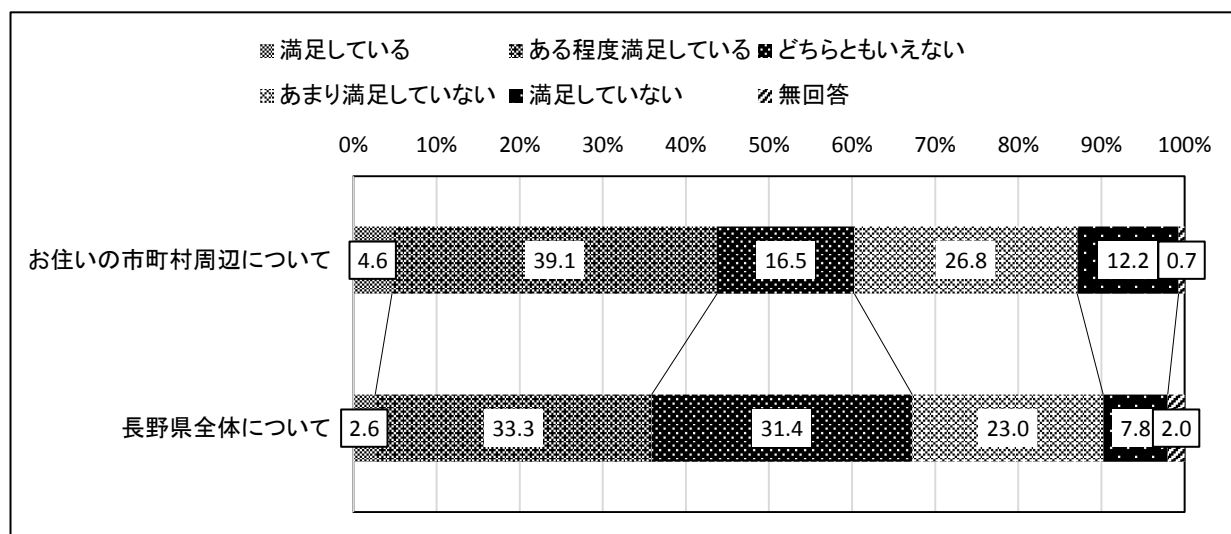
＜道路整備状況の満足度＞

「お住まいの市町村周辺について」では、「満足している」「ある程度満足している」が合わせて4割超

問9 現在の道路整備状況について満足していますか。(○はそれぞれ1つ)

n= 992	お住まいの市町村周辺について		長野県全体について	
	回答数	割合	回答数	割合
満足している	46	4.6	26	2.6
ある程度満足している	388	39.1	330	33.3
どちらともいえない	164	16.5	311	31.4
あまり満足していない	266	26.8	228	23.0
満足していない	121	12.2	77	7.8
無回答	7	0.7	20	2.0

●「お住まいの市町村周辺について」では、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせて43.8%、「満足していない」と「あまり満足していない」を合わせて39.0%となっている。



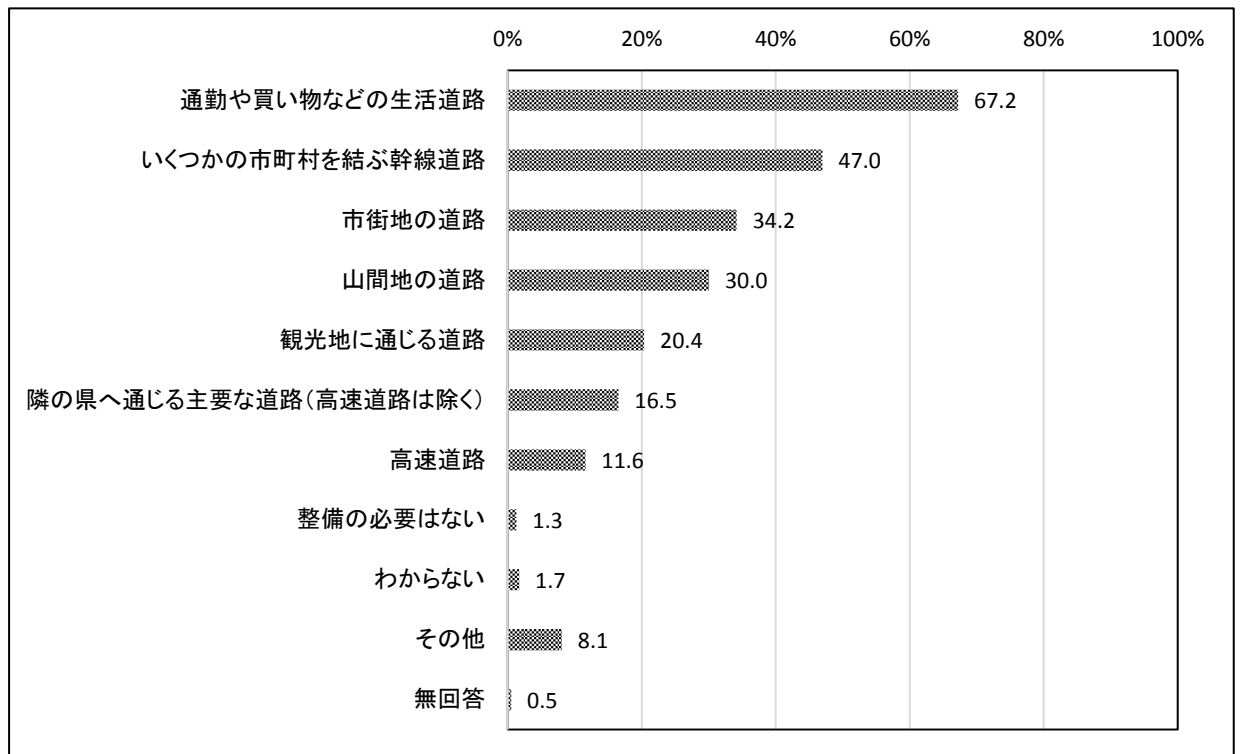
＜優先して整備すべき道路＞

「通勤や買い物などの生活道路」が7割弱、「いくつかの市町村を結ぶ幹線道路」が5割弱

問10 今後どのような道路を優先して整備すべきだと思いますか。(〇は3つまで)

	回答数 (人)	割合 (%)
n= 992		
通勤や買い物などの生活道路	667	67.2
いくつかの市町村を結ぶ幹線道路	466	47.0
市街地の道路	339	34.2
山間地の道路	298	30.0
観光地に通じる道路	202	20.4
隣の県へ通じる主要な道路(高速道路は除く)	164	16.5
高速道路	115	11.6
整備の必要はない	13	1.3
わからない	17	1.7
その他	80	8.1
無回答	5	0.5

●「通勤や買い物などの生活道路」が67.2%と最も高く、次いで「いくつかの市町村を結ぶ幹線道路」(47.0%)、「市街地の道路」(34.2%)となっている。



その他としては、「農道」、「峠の道路」、「環状道路」等の回答が見られた。

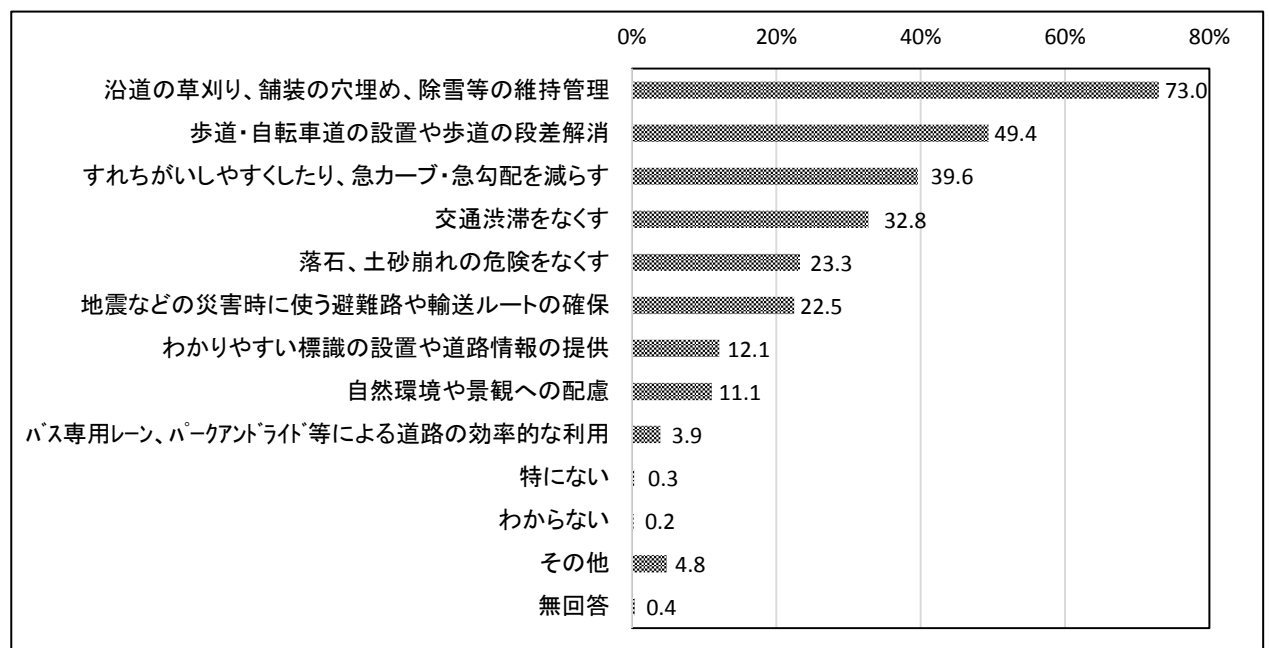
＜道路対策の優先度＞

「沿道の草刈りや舗装の穴埋め、こまめな除雪などの維持管理」が7割超、「歩道・自転車道の設置や歩道の段差をなくすなどの改善」が約5割

問11 日常利用している県内の道路について、どんな対策を優先的に進めるべきだと思いますか。  
(〇は3つまで)

n= 992	回答数 (人)	割合 (%)
沿道の草刈りや舗装の穴埋め、こまめな除雪などの維持管理	724	73.0
歩道・自転車道の設置や歩道の段差をなくすなどの改善	490	49.4
すれちがいしやすくしたり、急カーブ・急勾配を減らす	393	39.6
交通渋滞をなくす	325	32.8
落石、土砂崩れの危険をなくす	231	23.3
地震などの災害時に使う避難路や輸送ルートの確保	223	22.5
わかりやすい標識の設置や道路情報の提供	120	12.1
自然環境や景観への配慮	110	11.1
バス専用レーン、パークアンドライドや時差出勤などによる道路の効率的な利用	39	3.9
特にない	3	0.3
わからない	2	0.2
その他	48	4.8
無回答	4	0.4

●「沿道の草刈りや舗装の穴埋め、こまめな除雪などの維持管理」が73.0%と最も高く、次いで「歩道・自転車道の設置や歩道の段差をなくすなどの改善」(49.4%)、「すれちがいしやすくしたり、急カーブ・急勾配を減らす」(39.6%)となっている。



その他としては、「ラウンドアバウト設置」、「交差点の立体化」、「無電柱化」等の回答が見られた。

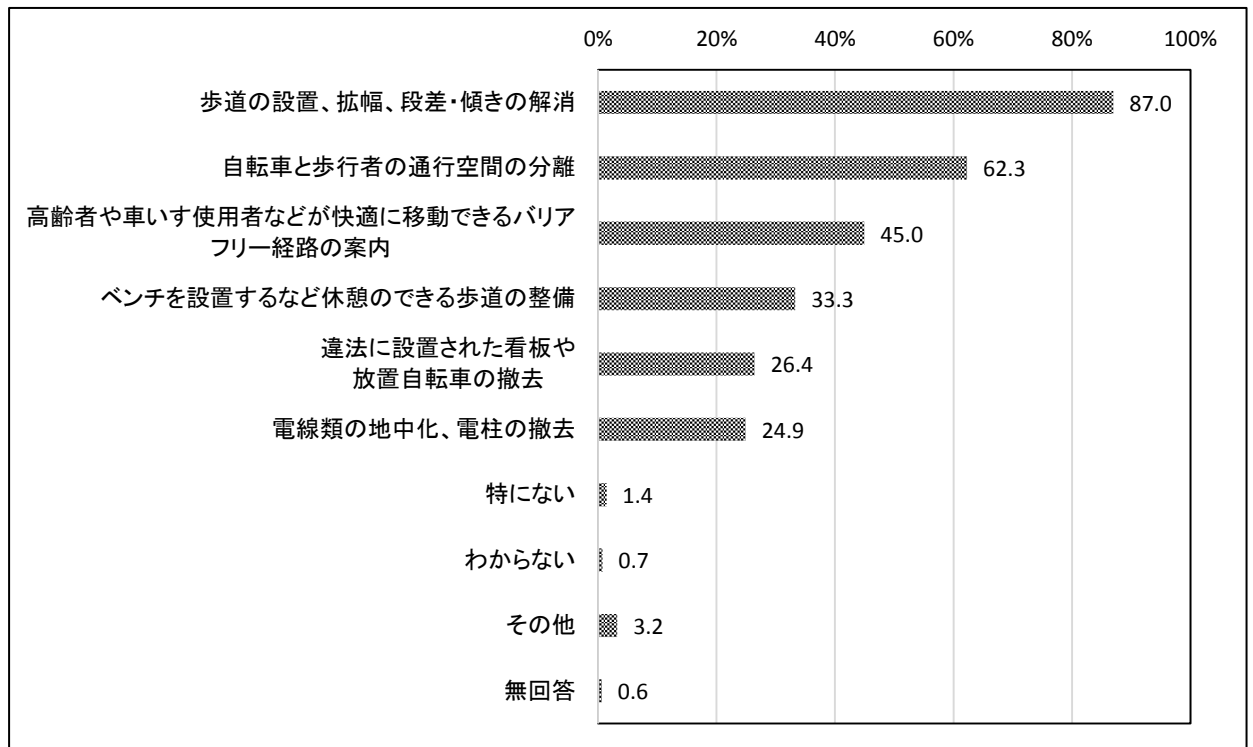
＜高齢歩行者への配慮に必要な道路整備＞

「歩道の設置、拡幅、段差・傾きの解消」が9割弱、「自転車と歩行者の通行空間の分離」が約6割

問12 高齢歩行者などに対する配慮として、歩行者の立場からどのような道路整備が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

n= 992	回答数 (人)	割合 (%)
歩道の設置、拡幅、段差・傾きの解消	863	87.0
自転車と歩行者の通行空間の分離	618	62.3
高齢者や車いす使用者などが快適に移動できるバリアフリー経路の案内	446	45.0
ベンチを設置するなど休憩のできる歩道の整備	330	33.3
違法に設置された看板や放置自転車の撤去	262	26.4
電線類の地中化、電柱の撤去	247	24.9
特にない	14	1.4
わからない	7	0.7
その他	32	3.2
無回答	6	0.6

●「歩道の設置、拡幅、段差・傾きの解消」が87.0%と最も高く、次いで「自転車と歩行者の通行空間の分離」(62.3%)、「高齢者や車いす使用者などが快適に移動できるバリアフリー経路の案内」(45.0%)となっている。



その他としては、「標識等の文字の拡大」、「自動車の速度抑制対策」、「電動車いすの運転がしやすい道路」等の回答が見られた。

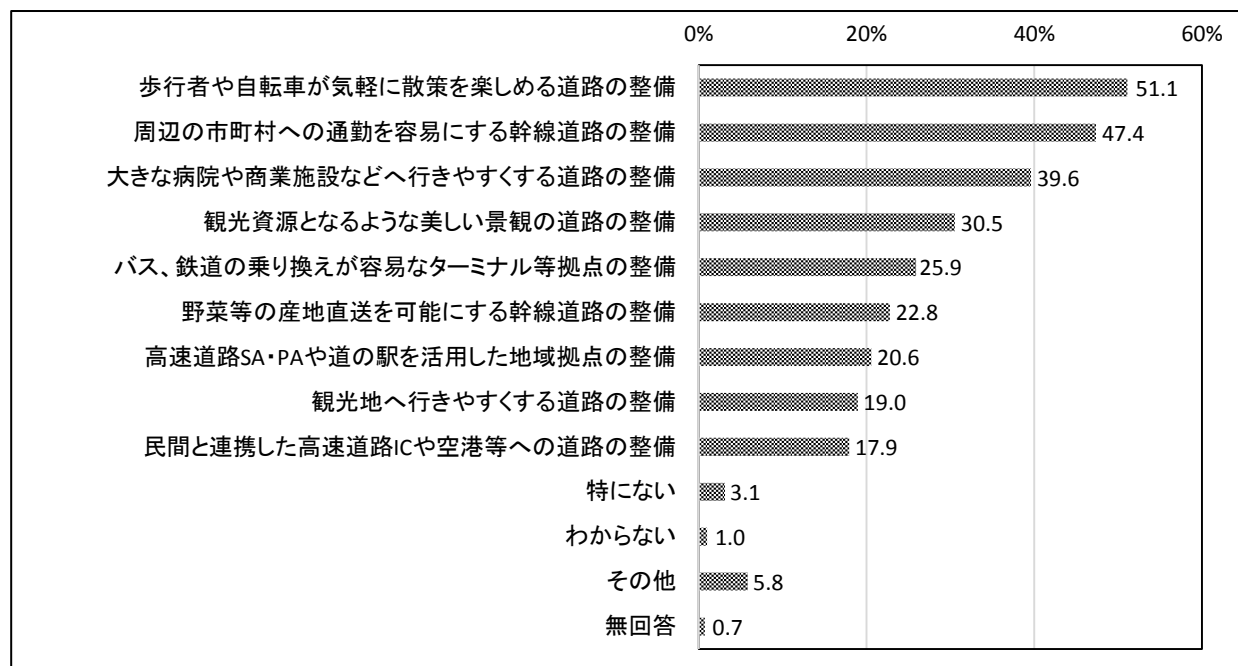
＜地域活性化に必要な道路整備＞

「歩行者や自転車が気軽に散策を楽しめる道路の整備」が約5割、「周辺の市町村への通勤を容易にする幹線道路の整備」が5割弱

問13 お住まいの地域が活性化するために、道路整備の面からどのような対策が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

	回答数 (人)	割合 (%)
n= 992		
歩行者や自転車が気軽に散策を楽しめる道路の整備	507	51.1
周辺の市町村への通勤を容易にする幹線道路の整備	470	47.4
大きな病院や商業施設などへ行きやすくする道路の整備	393	39.6
観光資源となるような美しい景観の道路の整備	303	30.5
バス同士やバスと鉄道などとの乗り換えがしやすいターミナルや駅などの拠点の整備	257	25.9
野菜や魚介類などの生産地から消費地への迅速な輸送を可能にするための幹線道路の整備	226	22.8
高速道路のサービスエリア(SA)・パーキングエリア(PA)や道の駅を活用した地域拠点の整備	204	20.6
観光地へ行きやすくする道路の整備	188	19.0
工場建設などの民間の投資と連携した高速道路のインターチェンジ(IC)や空港などへのアクセス道路の整備	178	17.9
特にない	31	3.1
わからない	10	1.0
その他	58	5.8
無回答	7	0.7

●「歩行者や自転車が気軽に散策を楽しめる道路の整備」が51.1%と最も高く、次いで「周辺の市町村への通勤を容易にする幹線道路の整備」(47.4%)、「大きな病院や商業施設などへ行きやすくする道路の整備」(39.6%)となっている。



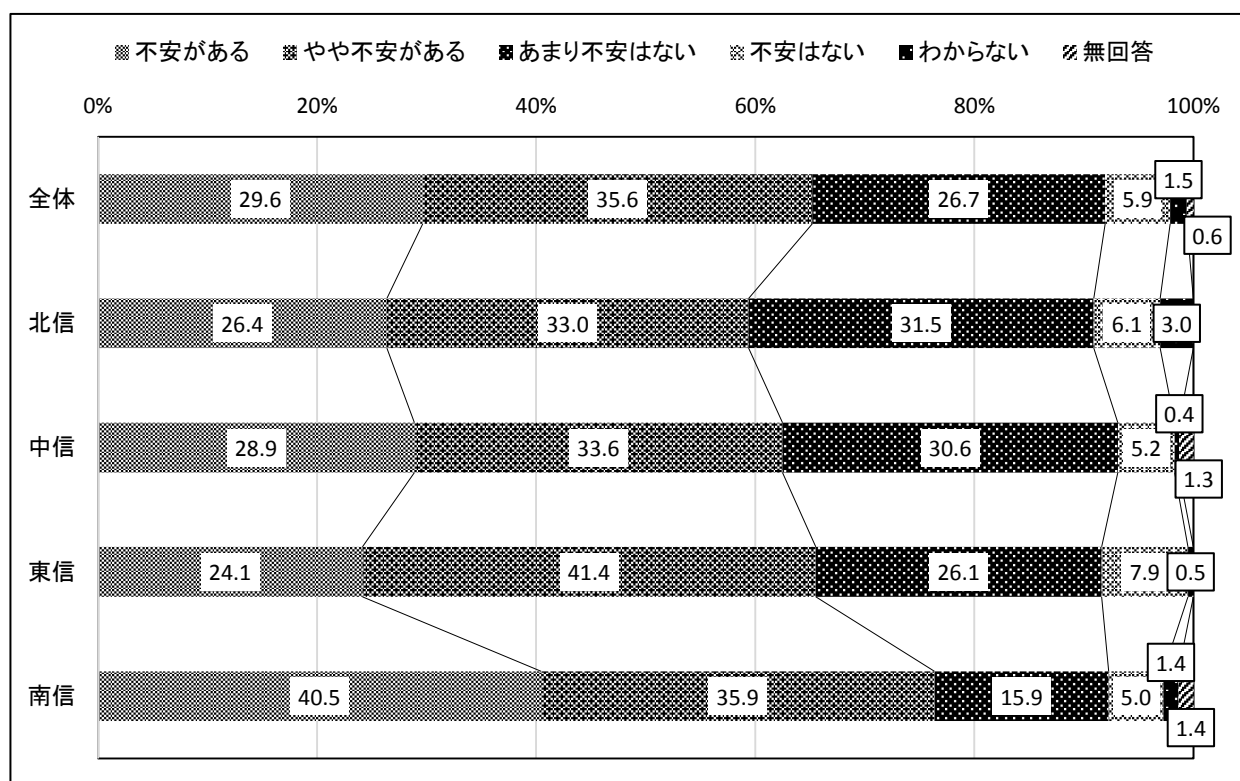
その他としては、「ウォーキング道路等」、「駅等の拠点と連携した整備」、「案内版の充実」等の回答が見られた。

＜大地震や大雨などの災害発生時における道路網分断の不安感＞  
「不安がある」「やや不安がある」が合わせて6割超

問14 大地震や大雨などによる災害が発生した場合、お住まいの近くにある道路について崩落や浸水による道路網分断等の不安を感じますか。(○は1つ)

	回答数 (人)	割合 (%)
n= 992		
不安がある	294	29.6
やや不安がある	353	35.6
あまり不安はない	265	26.7
不安はない	59	5.9
わからない	15	1.5
無回答	6	0.6

●「不安がある」と「やや不安がある」を合わせた割合は65.2%、地域別では、南信が76.4%と最も高く、次いで東信(65.5%)、中信(62.5%)、北信(59.4%)となっている。



### Ⅲ 調 査 票





## 【消費生活に関する意識について】

県では、「長野県消費生活基本計画」（平成26年度～平成29年度）に基づき、公正で持続可能な消費社会を目指し、消費者の権利の確立と擁護と県民の消費生活における自立支援に取り組んでいます。

また、より安全・安心な消費社会づくりを進めるため、「第2次長野県消費生活基本計画」の策定に向けた検討を行っています。

については、消費活動に関する皆様の意識などについてお伺いします。

**問3** 現在の「長野県消費生活基本計画」に基づき、県では次の施策に取り組んでいます。今後、より力を入れてほしいものは何ですか。（〇は3つまで）

- ① 県民の安全安心の確保  
（消費者事故情報の提供や物価の価格監視、地産地消の推進など）
- ② 商品・サービスの適切な選択機会の確保  
（悪質な事業者への指導・処分や多重債務にならないための知識啓発など）
- ③ 消費者教育の充実  
（さまざまな世代に応じた消費者被害防止の啓発や消費者教育のための人材育成など）
- ④ 県民意見の反映  
（行政における計画策定や取組の公表、消費者団体等との協働など）
- ⑤ 相談窓口の強化  
（身近な市町村での相談体制の整備や相談員の専門性向上など）

〔自由記載欄〕 その他、取り組んでほしいことがありましたら記入してください。

--

**問4** より良い社会づくりのために有効な手段である、人や社会・環境に配慮した消費行動「エシカル消費（※）」という取組をご存じですか。（〇は1つ）

- ① 知っている
- ② 聞いたことがある
- ③ 知らない

※「エシカル消費」とは、倫理的消費ともいい、価格や品質だけでなく、「地域」「社会」「人」「環境」などに配慮した消費行動のことです。  
（地元産野菜の購入、災害被災地商品の購入、省エネ家電製品の購入など）

**問5** 「エシカル消費」について、次のような取組がありますが、実施していることはありますか。（〇はいくつでも）

- ① 地元産や伝統工芸品を選んだり、また地元商店で買い物をする
- ② 災害被災地や風評被害にあっている地域の商品を選ぶ
- ③ リサイクル商品、またリサイクル可能な商品を選ぶ
- ④ 値段の安さだけでなく、長く使えるか、本当に必要かを重要視する
- ⑤ 障がい者や障がい者施設で作った商品などを選ぶ
- ⑥ 減塩など健康に配慮した商品を選ぶ

【道路整備等について】

近年、道路に求められる役割は、従前からの交通の円滑性・安全性向上に加え、景観等の質的向上やまちづくりへの寄与など、多様化しています。

また、道路予算の減少や橋梁の老朽化など、道路をとりまく状況が大きく変化しています。

県では、そうした時代の要請に応じた道路の整備や活用などについて、今後10年間（平成30年度～39年度）の方向性を示す「（仮称）信州みちビジョン」の策定に向けた検討を行っています。

については、道路を利用する皆様のご意見についてお伺いします。

問6 現在、県の道路整備の方向性については、主に総合5か年計画（平成25年度～29年度）に記載しているところですが、その内容をご存じですか。（○は1つ）

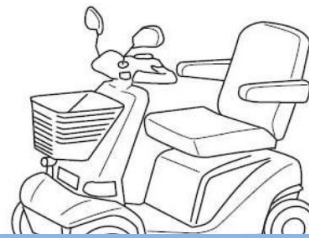
- ① よく知っている      ② ある程度知っている      ③ あまり知らない      ④ 全く知らない

※総合5か年計画における道路関連の主な施策

基本目標	分野	施策
確かな暮らしが営まれる美しい信州	地域づくり	魅力ある地域の創造と発信
	安全	地域防災力の向上
		県民生活の安全確保
	社会基盤	高速交通・情報通信ネットワークの充実
		快適で暮らしやすいまちづくり

問7 以下の乗り物を保有していますか。（○はいくつでも）

- ① 自動車  
② オートバイ・原動機付き自転車  
③ 自転車  
④ 車いす  
⑤ ハンドル形電動車椅子  
⑥ 上記の乗り物は保有していない



ハンドル形電動車椅子  
(経済産業省HPより)

問8 普段、どのような目的での外出が最も多いですか。(○は1つ)

- ① 通勤  
② 通学  
③ 仕事（配達、得意先回りなど）  
④ 買物  
⑤ 通院  
⑥ 趣味・娯楽  
⑦ 家族の送迎  
⑧ その他（ ）

問8で○をした目的で外出する際の交通手段は何ですか。(○はいくつでも)

- ① 鉄道
- ② バス
- ③ タクシー
- ④ 自動車(自分で運転)
- ⑤ 自動車(家族や知人などに送迎してもらう)
- ⑥ オートバイ・原動機付き自転車
- ⑦ 自転車
- ⑧ 徒歩
- ⑨ その他 ( )

問9 現在の道路整備状況について満足していますか。（〇はそれぞれ1つ）

	満足 している	ある程度 満足 している	どちら とも いえない	あまり 満足して いない	満足して いない
① お住いの市町村周辺について	1	2	3	4	5
② 長野県全体について	1	2	3	4	5

問10 今後どのような道路を優先して整備すべきだと思いますか。（〇は3つまで）

① 通勤や買い物などの生活道路

② いくつかの市町村を結ぶ幹線道路

③ 市街地の道路

④ 山間地の道路

⑤ 観光地に通じる道路

⑥ 隣の県へ通じる主要な道路(高速道路は除く)

⑦ 高速道路

⑧ その他(具体的に: )

⑨ 整備の必要はない

⑩ わからない

問11 日常利用している県内の道路について、どんな対策を優先的に進めるべきだと思いますか。（〇は3つまで）

① 沿道の草刈りや舗装の穴埋め、こまめな除雪などの維持管理

② すれちがいしやすくしたり、急カーブ・急勾配を減らす

③ 歩道・自転車道の設置や歩道の段差をなくすなどの改善

④ 落石、土砂崩れの危険をなくす

⑤ 地震などの災害時に使う避難路や輸送ルートの確保

⑥ 交通渋滞をなくす

⑦ わかりやすい標識の設置や道路情報の提供

⑧ 自然環境や景観への配慮

⑨ バス専用レーンの設置、パークアンドライド(※)や時差出勤などによる道路の効率的な利用

⑩ その他(具体的に: )

⑪ 特にない

⑫ わからない

※「パークアンドライド」とは、自宅から自家用車で最寄りの駅またはバス停まで行き、公共交通機関に乗り換えて目的地に向かう移動方法のことです。

**問12 高齢歩行者などに対する配慮として、歩行者の立場からどのような道路整備が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）**

- ① 歩道の設置、拡幅、段差・傾きの解消
- ② 電線類の地中化、電柱の撤去
- ③ 自転車と歩行者の通行空間の分離
- ④ 違法に設置された看板や放置自転車の撤去
- ⑤ 高齢者や車いす使用者などが快適に移動できるバリアフリー経路の案内
- ⑥ ベンチを設置するなど休憩のできる歩道の整備
- ⑦ その他(具体的に: \_\_\_\_\_)
- ⑧ 特にない
- ⑨ わからない

**問13 お住まいの地域が活性化するために、道路整備の面からどのような対策が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）**

- ① 工場建設などの民間の投資と連携した高速道路のインターチェンジや空港などへのアクセス道路の整備
- ② 野菜や魚介類などの生産地から消費地への迅速な輸送を可能にするための幹線道路の整備
- ③ 周辺の市町村への通勤を容易にする幹線道路の整備
- ④ 大きな病院や商業施設などへ行きやすくする道路の整備
- ⑤ 高速道路のサービスエリア・パーキングエリアや道の駅を活用した地域拠点の整備
- ⑥ 観光地へ行きやすくする道路の整備
- ⑦ 観光資源となるような美しい景観の道路の整備
- ⑧ 歩行者や自転車が気軽に散策を楽しめる道路の整備
- ⑨ バス同士やバスと鉄道などとの乗り換えがしやすいターミナルや駅などの拠点の整備
- ⑩ その他(具体的に: \_\_\_\_\_)
- ⑪ 特にない
- ⑫ わからない

**問14 大地震や大雨などによる災害が発生した場合、お住まいの近くにある道路について崩落や浸水による道路網分断等の不安を感じますか。（〇は1つ）**

- ① 不安がある
- ② やや不安がある
- ③ あまり不安はない
- ④ 不安はない
- ⑤ わからない

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。